

建築学分野		建築概論					
学年	第2学年	担当教員名	千葉 忠弘				
単位数・期間		1単位	前期	週あたりの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		<p>社会と建築の関わりを通じて、「建築とは何か」を理解するとともに、物事を建築的に考察する姿勢を身につける。住宅を中心に計画の基礎的な知識を身につける。建築学の各分野(歴史、環境、材料、構造、施工等)の基礎的な知識を身につける。</p>					
		釧路高専目標	A:20% C:70% G:10%	JABEE目標			
履修上の注意(準備する用具・前提となる知識等)		<p>準備する用具はない。 講義資料はプリントで配布するので、紛失しないよう心がける。 評価に関連するレポートは2つ出題する。 建築の基本事項の理解のために、積極的に建築関連雑誌、ウェブサイトを開覧すること。</p>					
到達目標		<p>建築の鑑賞方法、建築の特徴を説明できること。 住宅づくりの過程を理解でき、モデル住宅の特徴を説明できる。 建築学の各分野の基本的事項を説明できること。</p>					
成績評価方法		<p>定期試験の平均が60点以上で合格とする。 合格者には、定期試験(70%)とレポート(30%)を合わせて総合評価する。 レポートが未提出の場合は、不合格とする。 再試験は60点以上で合格とする。</p>					
テキスト・参考書		<p>教科書：使用しない 参考書： 建築鑑賞入門 (SD選書) (鹿島出版) 「110のキーワードで学ぶ23 世界で一番やさしい建築入門」 (株式会社エクスナレッジ) 北のすまいづくりハンドブック (北海道北方建築総合研究所) コンパクト建築設計資料集成 (丸善) 新建築、日経アーキテクチャーなどの建築雑誌</p>					
メッセージ		<p>ここの講義から日常的に建築を意識し、建築を学ぶ「心か」育つことを期待する。</p>					
前関連科目		建築設計演習Ⅰ		後関連科目		建築設計演習Ⅱ・Ⅲ, 建築計画Ⅰ, 建築史, 建築環境工学Ⅰ, 建築生産, 建築法規	

授業内容	
授業項目	授業項目ごとの達成目標
1. ガイダンス、建築学入門(0.5回) (建築学、カリキュラム、卒業後の活躍、建築関係雑誌など) 2. 建築の鑑賞入門(2.5回) (北海道、日本、世界の有名建築から) 3. 建築家と建築士(2回) (建築家、建築士について) (著名な建築家を紹介) (気になる建築家、代表作を調べる) (レポート) 4. 独立住宅概説(3回) (独立住宅の変遷) (住宅計画の基礎知識と住宅づくりの過程) (モデルハウスの見学レポート)	1. 本授業の目的を理解し、自己の学ぶ意識を確認できる。 2. 建築の鑑賞方法を理解し、建築の特徴を説明できる。 3. 「建築家」と「建築士」の職能の違いを理解できる。 3. 気になる、著名な建築家の代表作を説明できる。 4. 独立住宅の変遷を説明できる。 4. 独立住宅計画の基礎的事項を説明できる。 4. 独立住宅づくりの過程を理解できる。 4. モデル住宅の特徴を説明できる。
前期中間試験	実施する
5. 集合住宅概説(2回) (集合住宅の変遷) (集合住宅計画の基礎知識) 6. 建築企画計画概説(1回) 7. 建築と身体、モジュール・比率(1回) 8. 環境共生と建築(1回) 9. 建築デザインと建築構造・材料(1回) 10. 建築計画と法規制(1回)	5. 集合住宅の変遷を説明できる。 5. 集合住宅計画の基礎的事項を説明できる。 6. 建築企画、計画の概略を理解し、説明できる。 7. 物理的な身体寸法を元に、建築空間を把握できる。 7. デザインの基礎となるモジュール、比率を理解できる。 8. 自然環境・風土を活かした建築について理解し説明できる。 9. 建築デザインと構造・材料の関わりを理解し説明できる。 10. 建築計画に関わる法規制を理解し説明できる。
前期末試験	実施する

到達目標			
1. 建築の鑑賞方法を理解でき、建築の特徴を説明できること。 2. 建築学の各分野の基本的事項を説明できること。 3. 住宅計画の基本、住宅づくりの過程を理解でき、モデル住宅の特徴を説明できる。			
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	建築の鑑賞方法を理解でき、建築の特徴を分かりやすく的確に説明できること。	建築の鑑賞方法を理解でき、建築の特徴を説明できること。	建築の特徴を説明できない。
評価項目2	建築学の各分野の基本的事項を分かりやすく的確に説明できること。	建築学の各分野の基本的事項を的確に説明できること。	建築学の各分野の基本的事項を説明できない。
評価項目3	住宅計画の基本、住宅づくりの過程を理解でき、モデル住宅の特徴を分かりやすく的確に説明できる。	住宅づくりの過程を理解でき、モデル住宅の特徴を説明できる。	モデル住宅の特徴を説明できない。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70				30		100
基礎的能力							
専門的能力	70				30		100
分野横断的能力							